

令和2年8月2日

(鈴木知事)

今日は森市長、伊藤市長におかれましては、大変お忙しい中このように一緒に共同メッセージを発出するというご協力をいただきましてありがとうございます。

昨日時点で三重県内の感染者数は延べ112例というふうになっており、急激に拡大をして大変厳しい状況になっています。

一方で感染拡大防止と社会経済活動の両立、これを図っていかねばならないという観点からは、やはりピンポイントで対策を取って行って、その効果を上げていくということが重要となりますので、感染が拡大している地域などピンポイントで対策を取っていく必要があると考えています。その意味で少しちょっと見にくいかもしれませんが、三重県内、先ほど言いました昨日までの中に、直近一週間の感染者の中で、四日市市と桑名市が両方で55パーセント、半分を超えるというふうな状況になってきておりますので、森市長、伊藤市長にご協力、お力添えをいただいて、県もいろんなメッセージなどを発出してきましたけれども、両市の市民の皆さんに深く浸透を図っていきたいということでお力添えを賜った次第であります。

また、このようにこの直近一週間、特にこの桑名、四日市は今感染が急拡大している名古屋などとの近接性、あるいは様々な人の交流、そういうのがありますので、ここにございますとおり、直近一週間の三重県の名古屋市の関係は70.2パーセント、そして四日市市にいたっては87.5パーセントが名古屋に関連する、これは訪問歴がある人や濃厚接触者とかであります。桑名市においても70パーセントということで、やはりこの生活文化圏を共有する四日市、桑名との関係で感染が増えているということがありますので、ここは先ほども申し上げましたけれども、この厳しい状況の中、少しでも市民の皆さんにより深くこのメッセージを浸透させ、感染防止対策をやっていきたい、そういう観点から今日両市長とともにここに出させていただいた次第であります。どうか、三重県もしっかり頑張ってまいりますけれども、四日市市、桑名市におかれましてはご協力のほうよろしくお願いしたいというふうに思っています。私からは以上です。

(森市長)

私のほうから発表させていただきます。現在、四日市市の現状、取組についてということです。

先ほど知事から発表がありましたとおり、四日市市内におきましても非常に感染者数の増加が顕著な状況となっております。昨日8月1日の発表分は6件と、市内でも過去最多を更新したというところであります。知事への資料ですと直近一週間ですと言ったんですけども、市内では5日間に集中しておるという状況もありまして、今まさに増加しているという真っ只中でありまして、そういった中で、四日市市の感染者の傾向なんですけども、この一週間の感染者数の3分の1が四日市市ですので、県のトレンドと合っているところもあるんですけども、大きな特徴はやはり3点かなと思っております。

まず1点目が、名古屋を含む県外との関係が非常に多いということでありまして、直近一週間の名古屋関係は87.5パーセントと先ほどありましたけれども、県外におきましては

93. 8パーセントとほとんどが県外という状況であります。また若者への広がりという傾向もあります。四日市市では3月、4月の時点での感染者は40歳以上が78パーセントを占めておりました、10代から20代の感染者はゼロでした。それが直近一週間を切り取ると、40歳以上の感染者が12.5パーセントと低くなる一方で、3月、4月にはいなかった10代、20代の感染者が62.5パーセントとほとんどを占めるという状況であります。若者の方に特に注意喚起を促していきたいと考えております。

さらには感染者数の増加もそうなんですけれども、名古屋での感染者数が増えていることによって、濃厚接触者が多種多様に及んでいるという状況で、新規の感染事例数が増加しております。一週間で16人の感染者数という話をしましたけれども、地域感染事例数では10例出てきています。様々な方向から感染が四日市に入ってきているということが言えると思っております。

そういった中、本市は県内の唯一の保健所政令市としまして、三重県さんと連携させてもらいながら、検体の採取、感染者の把握、健康観察などを取り組んでいるというところでもあります。医療保健者の皆さん方も、しっかりと皆さんを中心に、帰国者・接触者外来の力を結集していくためにも、診療所においても検体採取に協力をいただいているというところでもあります。今後も県としっかりと連携を組みながら邁進していきたいと、取り組んでいきたいと思っております。

その中で、私どもとして訴えていきたいのは、やはり県外、特に名古屋からの感染が非常に多いということから、県外の移動は慎重に行っていただきたいと思っておりますし、名古屋の繁華街には出て行っていただきたくない、控えていただきたいというところ、あと若者、しっかりと高い意識を持っていただきたいと思っております。一方で、四日市市内での市中感染が広まっているという状況ではありません。ですから市内にまずは感染の波を持ち込まないということ第一に考えて、市民の皆様方には市内でしっかりと新しい生活様式にのっとった感染防止対策に努めていただきたい、そういった思いであります。何とか第二波の波を抑えていけるように頑張っており、取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(伊藤市長)

桑名市の伊藤でございます。今日はこのような合同メッセージを発表するという事で来させていただきました。

先ほど知事からもご説明いただきましたとおり、この桑名においても急速に感染者の確認がだいぶ増えておるところであります。現在桑名市では15名の方の感染が確認されているところではありますけれども、この15名の中の大多数が愛知県、特にこの名古屋市由来の感染であるということが確認をされています。やはりこの桑名という街は三重県の最も北に位置する市でありまして、この愛知県との県境にあるということもあります。桑名から愛知県のほうに通勤、通学されている方は1万人以上おられますし、愛知県から桑名にお仕事などで来られている方は4,000人おられるという形であります。そういった中で、ここの往来を止めるとか交流を止めるとか、これは現実的ではありません。そういった意味ではこの交流などがある中で、より高い意識を持っていただいて、このコロナウイルスについて、しっかりと持ち込まない、そして伝播させない、そして拡散させない

い、この思いをより高く持っていただいたうえで、このそれぞれの生活をしていただくしかならないのかなと考えています。

そういった意味では、桑名の皆さんにもお伝えしたいのが、この愛知県や名古屋に通勤、通学されている方におかれましては、やはりしっかりと感染予防対策の徹底をあらためてお願いをしたいというふうに思います。現地の繁華街の飲み会などは現に慎んでいただきたいというふうに思います。仮に飲むのであれば、やはりこの三重県に戻ってきていただいて、しっかりと感染対策がされているお店で飲食を楽しんでいただければと思っています。

またこの職場などで感染をしてご自宅でも家庭内感染というものが出てきておりますので、しっかりと感染対策予防をしていただいたうえで、徹底をしていただきたいなと思っています。

また、感染を疑う症状に気づいた場合には、まずは必ず活動をしっかりと自粛をしていただいて、そして万が一感染した場合には、保健所の調査に真摯に協力をしていただいて拡散を防いでいただきたいというふうに思います。

我々といたしましては、愛知県からの玄関の都市でありますので、しっかりと私たちが愛知県からの流入を防ぐことができれば、この県内での感染拡大を防止できることに貢献できるというふうに考えています。これからも三重県の力をお借りしながら、また四日市ともしっかりと連携しながら、この地域でのこれ以上の拡大防止に努めてまいりたいと思っています。以上です。

(鈴木知事)

ここからは共同メッセージの案をご説明しますが、先ほどちょっと趣旨説明で申し上げるのを追加的に申し上げれば、都道府県をまたいで、都道府県間の連携というのはもちろん重要でありますけれども、三重県としましては、これまで同様、やはり県と市がしっかりと連携をしてしっかりと対策を取っていく。県と市の連携、そういうのを重視したモデルで県としてもこれからもしっかりとやっていきたいということで、今回四日市市さん、桑名市さんにご協力いただきました。

そしてまた繰り返しになりますけれども、ピンポイント、メリハリのついた対策、そういうものが大事だということで今回の共同メッセージにいたっています。

それでは簡単にご説明させていただきますけれども、前文においてはとりわけ感染者の多い名古屋市と生活文化圏を共有する四日市、桑名において相次いで感染者が確認されているということと、夏休みに入って、人の往来が増える時期となってきたので、今がまさに、先ほど伊藤市長からもありました、持ち込まない、拡散させない、そのための正念場だということです。ですので気を緩めることなく、この地域における新規感染者の発生に歯止めをかけて、県内全域への拡大を防止していくということから、今回、県民・市民の皆様、三重県、四日市、桑名が緊密に連携して感染拡大防止に取り組んでいくということのメッセージを発信させていただきます。

以下、項目ごとになってはいますが、1つ目は、県外への移動については、その必要性や移動先について立ち止まって慎重に検討していただきたい。名古屋市を感染源とする感染者が極めて多いということから、名古屋市内の繁華街への移動は避けていただきたい。

また、名古屋市内にお勤めの方も、三重県民の中で、あるいは四日市、桑名市民の方でたくさんおみえです。勤務中も感染防止対策を徹底していただき、勤務後の繁華街訪問を避けていただきたい。

そして2つ目です。特に、若い世代の皆様は、感染防止対策、今一度徹底していただき、名古屋市の繁華街への移動は避けていただきたい。それから、働いている方も含め夏期休暇になってくると、友人と過ごす機会も多くなると思います。近接距離での長時間の会話、特に会食の場面でのそういう長時間の会話には十分注意をしてほしいと思います。

そして3つ目です。桑名市、四日市市ともに、飲食店、宿泊施設が大変たくさんあります。その事業者の皆様には、ガイドラインに基づいてあらためて感染防止対策を徹底していただきたいと思います。

また両市にはたくさんの企業があります。企業の皆さんの中には、名古屋市内の事業所と取引されてる企業も多いと思います。あらためて、従業員の方の体調管理、これもぜひ気をつけていただきたい。休日の間に発熱とかがあった場合を含めて、症状があったら休暇とするなど、ご配慮をいただきたいと思います。

そして5つ目です。この四日市、桑名の医療機関の皆様は、今、入院患者、検体採取が急増していて、大変なご尽力をいただいています。その皆様にあらためて敬意を、そして深く感謝を申し上げたいと思い、県、四日市市、桑名市においては、医療機関の皆様を全力で支援をしていきたいと考えています。

そして6つ目は県と市が緊密に連携し、感染経路の特定、接触者の情報収集をしっかりと行って、感染拡大の防止に全力で取り組んでいきたいと思います。

そして7点目です。感染者が増えてきているので、そういった中で特にいじめにつながる行為、人権侵害、誹謗中傷、こういうことは絶対にやめていただきたいということであり、以上が共同メッセージ案であります。